

かけはしがわ
梯川重点区間改修事業の促進
 ～小松地区中心市街地の治水上のネック箇所解消～
 梯川水系梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中する一方で流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点（河口から1.0km）～鍋谷川合流点（河口から7.6km）間を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また重点改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保全する分水路方式により河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、橋梁架替、分水路整備等

2. 事業の経緯

平成17年度までに前川合流点（河口から1.0km）～丸の内町（河口から2.9km）、梯大橋下流（河口から3.4km）～八丁川合流点（河口から4.6km）までの堤防が完成しており、小松地区（河口から3km）が治水上のネック箇所となっています。

小松地区の改修事業は平成12年度から用地取得に着手しており、平成18年度には右岸側水路付替に着手しています。

3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は平成18年度に引き続き小松大橋架替等を推進します。

